

ATM 逆多重化 (IMA) を使用する7200 シリーズ ルータのATMサービス インターワーキング (FRF.8) へのフレームリレー

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティングのためのコマンド](#)

[関連情報](#)

概要

[ブロードバンドフォーラム](#) (以前のフレームリレーフォーラム) は、FRF.8実装協定でフレームリレー/ATM間サービスインターワーキング機能を定義しています。FRF.8の一般的な設定は、フレームリレーエンドポイント、ATMエンドポイント、およびインターワーキング(IWF)デバイスで構成されます。PA-A3 ポート アダプタを搭載した Cisco 7200 シリーズ ルータは、Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.1(5)T から、インターワーキング機能を提供できます。また、Cisco 2600 および 3600 シリーズ ルータ、MC3810 もインターワーキング機能を提供できます。フレームリレー/ATM 間のサービス インターワーキング (FRF.8) 機能は、フレームリレーと ATM ネットワーク (特に、ATM バックボーンおよびフレームリレー エンド ユーザによるネットワーク) をリンクする必要があるインターネット サービス プロバイダーにメリットを提供します。

Inverse Multiplexing over ATM(IMA)は、ブロードバンドフォーラム (af-phy-0086.000)仕様です。これは、ATMセルの逆多重化と逆多重化を、高帯域幅および論理リンクを形成するためにグループ化された物理リンク間で循環的に行います。論理リンクのレートは、IMA グループの物理リンクの合計レートとほぼ同じです。セルのストリームは、複数の T1/E1 リンクにラウンドロビン方式で分散され、元のセル ストリームを形成するために宛先で再構成されます。シーケンシングは、IMA Control Protocol (ICP) セルを使用して提供されます。

このドキュメントでは、PA-8T1-IMAを搭載した7200シリーズルータでのFRF.8の設定例を示します。

前提条件

要件

この設定を開始する前に、次の要件が満たされていることを確認してください。

- フレームリレーとATM/IMAの両方のルータ設定を理解する。
- カプセル化タイプ、フレーム、セル形式、およびレイヤ1のトラブルシューティングに精通している。
- ケーブル配線を理解する。

このドキュメントに記載されていない関連項目については、関連情報を参照し[てください](#)